

平成 3 1 年度施政方針

(一意専心)

(平成 3 1 年第 1 回定例会)

平成 3 1 年 3 月 1 日

川 島 町

それでは、議長のお許しをいただきましたので、本定例会においてご審議いただきます諸案件に先立ちまして、平成31年度の町政運営に関する基本的な考えを申し述べさせていただきます。

【はじめに】

平成時代の最後の年となった平成31年も、今日で3か月目となり、新しい時代の始まりまで2か月を切りました。2月24日の「天皇陛下御在位三十年記念式典」では、天皇皇后両陛下御臨席の下、大勢の方が参列され、厳かなうちに挙行されました。特に、天皇陛下のおことばでは、国民の安寧と、平和と繁栄への希求を願われるものでありました。新しい時代がどんな時代になるか、新しい天皇陛下が、どのように国民へその思いを発せられるか、注目されるところであります。

また、今年には川島町長選挙を皮切りに、埼玉県議会議員選挙や川島町議会議員選挙、参議院議員通常選挙、埼玉知事選挙が行われるなど、選挙の年、選挙イヤーとなります。これらの選挙が、平成のその先への時代へとつながるものとなり、時代が大きく変わっていく胎動、黎明を感じることもなるかもしれません。

さて、私の町政経営に対する基本的な考え、思いは、就任あいさつ並びに所信表明で述べさせていただいたと

おりでございます。一意専心、川島の未来を創るという一念で、平成31年度も、1年を全身全霊、全力でまい進していく所存です。

NHK大河ドラマ『いだてん』の主人公であり、日本マラソンの父と言われる金栗四三（かなくりしろう）氏は、「体力・氣力・努力」という言葉を残されています。また、シドニー・アテネ両オリンピックソフトボール日本代表監督だった、ふるさとかわじまPR大使の宇津木妙子氏は、「努力は裏切らない」という言葉を、更に昭和11年、1936年のベルリンオリンピックに出場した、三保谷地区出身の鈴木聞多（すずきぶんた）氏も「努力は無限」という言葉を残されています。まさに「努力に勝る天才なし」であります。歴史に名を刻まれているこれらの方々に負けぬよう、愚直に、誠実に、公正に、一つずつ努力を重ねていきたいと思っております。

【平成31年度予算編成方針】

このような思いで編成した平成31年度当初予算は、「内に溜める予算」と題し、非常に厳しい財政状況であります。第5次川島町総合振興計画後期基本計画のリーディングプロジェクトであります「川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策を最重要推進項目として重点的に配分いたしました。

【平成31年度当初予算の概要】

平成31年度当初予算の規模は、一般会計が67億7,400万円となり、前年度比1億6,400万円、率にして2.5%の増となりました。

また、特別会計は、国民健康保険特別会計が0.9%減の24億1,300万円、学校給食費特別会計が3.3%減の6,950万円、下水道事業特別会計が46.6%増の8億2,400万円、介護保険特別会計が3.5%増の17億6,000万円、後期高齢者医療特別会計が8.3%増の2億2,100万円、水道事業会計が18.6%増の7億8,468万4千円となりました。

なお、予算に基づく主要事業の詳細につきましては、先にお配りしております、平成31年度予算案の概要や、「平成31年度予算書」をご参照くださいますようお願いいたします。また、傍聴の皆様をはじめ、町民の皆様にはお手数ですが、情報公開コーナーや町ホームページでご覧いただきますようお願いを申し上げます。

【むすびに】

むすびに、2期目の初年度となります平成31年度は、1期目からの重要プロジェクトの推進は元より、新たに公約として掲げさせてもらった、キラリと女性が輝く社会づくりや、総合型地域スポーツクラブの推進を図ると

ともに、引き続き、K Jブランドや教育力の向上にも力を注いでまいります。

平成31年度も、職員一丸となり、「チームかわじま」として、町民の皆様の立場に立った町政を経営してまいり所存です。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、「未来に明るい希望が持てる魅力あふれる川島町」の実現に向け、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。平成31年度の施政方針とさせていただきます。

平成31年3月1日

川島町長 飯 島 和 夫